

方針1 【 個性を輝かせ つながり合う学校 】

藤原中学校の一人ひとりが、安心して個性を発揮していくためには、同級生の横のつながり、学年を越えた縦のつながりがともに大切であると考えます。まず、横のつながりについてです。大きな行事でも日常でも、個性を認めることで全校・学年・クラスの力は大きくなります。その力を普段から発揮できるようにするための第一歩が、同級生の横のつながりを深め、お互いを分かり合うことだと思います。そうすることで友達関係が良くなり、学校が明るくなり、常日頃から学年・クラスが持っている最大限の力を発揮できます。また、仲間が意見を遠慮なく言える雰囲気を作り、その意見を尊重し大切にすることは、一人ひとりの個性を認め合うことにつながります。仲間の短所を否定せず、自分らしさを出せる環境を全員で創っていきましょう。そうすれば、体育祭や合唱発表会の大きな場面でも、お互いの長所を伸ばし合い、仲間の短所を補える集団になります。授業の中でも自分の意見を、自信をもって発表できる「まちがえても大丈夫」な環境を創ることができると思います。

次は、縦のつながりについてです。先輩と後輩の関係作りは同級生の場合と比べて難しい面があります。しかし、藤原中学校は生徒数がそれほど多くないので、学年を越えた信頼関係をつくりやすいというメリットがあります。つまり、全校生徒がお互いに分かり合える機会がたくさんあるということです。また、小中一貫校となり、縦のつながりはますます重要になってきました。先輩は勉強や部活など学校生活の様々な場面で後輩の手本になることが多くあります。だからこそ先輩は日々の生活を見つめ直し、行動に移していくことが必要だし、後輩は先輩の姿から多くのことを学び、それを受け継いでいかなければなりません。そうやって先輩、後輩の信頼関係を高め、つながり合える学校にしていくことが大切だと思います。

方針2 【 授業は意識・活気・本気 】

これを実現するために大切にしてほしいことが四つあります。

一つ目は教え合いです。それはなぜかという、授業は聴くだけでなく、その内容を理解することが重要で、それは教え合いで可能になるからです。お互いに教え合うことで、授業を分かっている人はより理解が深まるし、分からない人は仲間に教えてもらうことで理解ができるようになります。そして、みんなが分かれば全員拳手につながり、発表する機会も増えます。つまり一人ひとりが輝くための鍵が教え合いにあるということです。

二つ目はベルスタです。なぜかという、授業の始まりを揃えることで、良い雰囲気です。授業を進めることができるからです。またベルスタを積極的に行うことで授業の間だけでなく、登下校の時間、掃除やSHRでも時間を守る意識が生まれ、メリハリのある学校生活を送れるようになります。時間を守るということは、社会に出た時に必ず必要となる習慣です。将来活かせるように今から大切にしていきたいと思います。

三つ目は切り替えです。切り替えをするということは「目の前のことに集中する」という意味です。みんなが切り替えを意識し、実行することで、授業はスムーズに進み、よりたくさんの方のことを学べる機会が増えます。さらに教え合いの時間も確保でき、全員で分かり合うことができるようになります。また切り替えは授業中だけでなく、部活動や日々の生活の中でも実践できることがたくさんあります。

四つ目はアイコンタクトと反応です。仲間の意見に耳を傾けることは、クラスが団結する上で無くてはならないものだと思います。そして授業はみんなで深め合っていくものです。だから誰もが安心して発言できる環境を創るためにも、アイコンタクトと反応はとても大切だと思います。

一人ひとりの意識によってより良い授業が生まれます。全員が参加することで、活気がある本気の授業を創っていきましょう。

方針3 【 未来につながる感謝と行動 】

これを実現するために、大切にしてほしいことは三つあります。

一つ目は、学校生活を送る上でのルールやマナーについてです。例を挙げると、反応やベルスタをする、陰口や暴言を言わないなどです。人と接していく上で、マナーは必要です。マナーとは思いやりや礼儀という意味です。それが無い人は、知らず知らずのうちに相手を傷つけているかもしれません。そのため、まず自分で時間を見て行動したり、相手の気持ちを考えて反応したり、言葉を選んで話すなど、小さなことから意識を積み重ねていくことが大切です。そして、いつも感謝の気持ちを持つこともマナーです。当たり前前のことを当たり前と思わず、常に「ありがとう」という気持ちを持ち、行動していくことが大切です。

二つ目はあいさつです。誰に対してもあいさつの出来る人は、見ていて気持ちが良いです。あいさつをすることで、学校全体が明るくなります。さらに、あいさつはただのコミュニケーションではありません。人と人をつなぐきっかけで、先輩や後輩、地域の方と接することのできるチャンスです。だから、あいさつの仕方意識しなければいけません。例えば、目を見てあいさつすることや、聞きやすい声量で言うことです。声が小さく、相手が気づいてくれなかったら、あいさつをしたのに返してくれなかった、と悲しい気持ちになります。そこで、より伝えやすくするために、相手の名前を言ってあいさつをすることが大切です。あいさつをされた方も相手の顔を見て返事をするので、お互い気持ちの良いコミュニケーションをとることができると思います。

三つ目は掃除です。毎日の掃除の十分間、一生懸命に掃除ができていますでしょうか。これはとても大切な事です。自分で自分達の使う場所をきれいにするので、良い気持ちになり、みんなが安心して学校生活を送ることができます。今までの先輩達も掃除の重要性を意識し、きれいな校舎を保ち続けてくれました。このきれいな藤中をこれからも残していけるよう、全員がきれいになろうという気持ちを持って取り組みましょう。意識を変えると行動が変わります。行動が変わると自分を変えることができます。日々の小さなことから意識して、よりよい自分や藤中を創っていきましょう。

◆2018年度 前期委員会活動方針案◆

	議会	情報・図書委員会	保健・給食委員会
スローガン	真剣喜楽	本は英知の友	それいけ！フジワラ隊！！ ～元気で安心してすごせる藤中～
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全校の手本となる存在 ・メリハリのある取り組み提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生と共有する ・仕事をきちんとする ・ルールを守る 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食を作ってくれた人に感謝し、楽しく食べる ・普段から健康な食生活を心がける
日常活動	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館、テニスコート開放 ・服装チェック ・生徒会の提案をクラスに発信 ・執行部と連携し、学校づくりを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の貸し出し ・将棋や囲碁の貸し出し ・掃除の放送 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチルームチェック ・ランチルームの放送 ・アルホースの補充
集中期間	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱発表会、練習 ・授業の取り組み ・生徒会の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校読書の取り組み ・新刊の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間内に食べる取り組み ・残さず食べる取り組み ・健康に関する取り組み ・心の健康に関する取り組み